

日本語版への序文

「スレイング・ザ・ドラゴン」の日本語版に序文を書くというのはとてもうれしいことである。この何年かの間に、アディクションの治療と回復のサポート資源を発展させるという共通の目的をもった、多くの日本人々と出会ったが、彼らの語る理想や献身的な努力にはこころを打たれた。

アメリカと同様に日本にも、人勾の目には触れないかもしれないが、長いアディクションの歴史、アディクション治療の歴史、そしてアディクションからの回復の歴史があるにちがいない。アメリカにおけるアディクションの治療と回復の歴史について書いたこの本の出版が、同じように、日本におけるアディクション治療と回復の歴史を記録しようとする努力を勇気づけることになってほしいと思う。私たちは互いに多くのことを学び合えるはずだ。いつの日か遠からず、誰かが、あるいは何人もの人々が、この仕事を与えられた使命と悟り、その結果、多くの国の人々が、この領域における日本の経験から、豊富な教訓を学ぶことができるようになるかもしれない。そういった日の来ることを待ち望んでいる。日本におけるアディクションの治療と回復の歴史においても、讃えられるべきパイオニアたる人々がおり、組織があるだろう。そういった個人の生涯や組織の歴史には、後の世代が学ぶべき多くの教訓が含まれている。治療と回復についてアメリカで学ぶことができたことについては、以下のページにある程度書いた。日本の読者のみなさんには、私の国の最もすぐれた営みからはインスピレーションを、そして多くの誤りからは知恵を引き出してほしい。

このプロジェクトを支えていただいたジャパン・メリノール・アルコール・センター（ジャパン MAC）の荒井元傳氏、武澤次郎氏、椎崎洋氏、そして日本語のこの本を実現させてくれた訳者、鈴木美保子氏、山本幸枝氏、麻生克郎氏、岡崎直人氏に格別なる謝辞を記したい。

私はこの「スレイング・ザ・ドラゴン」の日本語版を、アルコールや薬物の問題から回復した日本の男性、女性たちにまたその人々の道程を助けてきた人々に献じたい。

2007年4月

ウィリアム・L・ポフイト